

# 平成21年度(第47回)越馬徳治科学賞

## 受賞者・受賞校の業績 及び 助成校・助成機関の紹介

### 1 個人表彰

金沢市立野町小学校 教諭 田口 裕人

金沢市立新堅町小学校を初任に、同瓢箪町小学校、同扇台小学校、同野町小学校、同犀川小学校、金沢市キゴ山天体観察センターを経て現在に至る。研究面では、金沢市個人委託研究で「生活科とつなぐ理科学習のあり方」、越馬徳治科学教育研究奨励で「楽しい理科学習を求めて」等の実績がある。学校での理科教育推進に取り組み、金沢市小学校教育研究会理科部会の運営委員等を歴任する一方、金沢子ども科学財団児童科学教室や発明工夫クラブ、宇宙少年団金沢支部の指導員、「理科の学習」の編集者として、幅広く理科教育に貢献している。

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校 教諭 辰巳 豊

金沢市立犀川中学校を初任に、同犀生中学校、同額中学校、同港中学校を経て現在に至る。学校研究テーマのもと研究実践・公開授業を行うとともに、金沢市中学校理科研究グループに所属し、全国中学校理科教育研究大会において発表したり、県理科教育研究大会において提案したりするなど多くの活動実績を持つ。また、指導した学校を高峰賞の最優秀賞や金沢市児童生徒科学作品展の金沢商工会議所会頭賞の受賞と導くなど、指導面でも実績を残している。

石川県立七尾東雲高等学校 教諭 高瀬 達也

石川県立医王養護学校を初任に、同田鶴浜女子高等学校（現田鶴浜高等学校）、同羽咋高等学校を経て現在に至る。全国理科教育大会物理部会における「旧四高時代の音分野の実験機器」の研究発表をはじめ、多くの研究発表を行っている一方、高等学校物理の教科書執筆にも関わっている。指導面においては、環境放射線教室における講師の他、青少年科学の祭典の講師も務めるなど、子ども達の興味喚起に貢献している。また、県高等学校物理実験書検討委員、県高等学校教育研究会理化部会理事を多年にわたり務めている。

石川県立金沢西高等学校 教諭 竹田 勉

石川県立珠洲実業高等学校を初任に、同金沢桜丘高等学校、同金沢錦丘高等学校、石川県教育センター指導主事を経て現在に至る。県理科教育研究大会での「生物 I における探求活動の素材となる生物例」の研究発表をはじめ、県高等学校教育研究会生物部会を中心に研究発表を行うとともに、県理科教育研究大会における提案者や、公開授業担当者を務めるなど、理科教諭の指導力向上に貢献している。また、石川県教育センター紀要「石川の自然 第30集 採集と観察のすすめ」も執筆もしている。

## 2 功 労 者 表 彰

### 金 沢 市 立 西 南 部 中 学 校 校 長 濱 野 大 助

金沢市立新神田小学校を初任に，同森本中学校，同野田中学校，同鳴和中学校，石川県教育委員会事務局体育課指導主事，同スポーツ健康課主幹，金沢市立緑中学校教頭，同西南部中学校教頭を経て現在に至る。長年，金沢市小・中学校児童生徒科学研究作品展や県児童生徒科学作品コンクールの指導にあたり多くの児童・生徒の入賞に寄与した。また，県理科教育研究協議会幹事，県科学教育振興会理事，県理科教育研究大会金沢大会での分科会運営副委員長なども務めた。

### 石 川 県 立 金 沢 泉 丘 高 等 学 校 校 長 浅 田 秀 雄

石川県立町野高等学校，同大聖寺実業高等学校，同小松高等学校，石川県教育委員会事務局学校指導課指導主事，石川県立大聖寺高等学校，同金沢二水高等学校教頭，石川県教育センター所長，石川県教育委員会事務局学校指導課長，石川県立小松高等学校校長を経て現在に至る。この間，北信越理科教育研究大会での「電磁誘導についての指導法研究」の研究発表や，「大気大循環の室内実験装置の工夫」に関する指導を行うとともに，県高等学校物理実験書検討委員を務めるなど，理科教育の推進に貢献してきた。

## 3 学 校 表 彰

### 金 沢 市 立 杜 の 里 小 学 校 (校 長 明 星 敏 浩)

当該校は，平成19年度に開校して以来，花壇の整備をはじめとする理科環境の整備や理数教育を重視し，新しい時代の理科室経営を目指した取り組みを行ってきた。平成20年度には，「理数教育における地域型キャリア教育推進事業」の委託を受け，金沢大学と連携しながら，日常生活と結びついた理数教育，理科学習を好きになる授業づくりをめざしてきた。また平成21年度には，金沢市の理科実技研修会の会場校をつとめるなど，金沢市における理科教育の拠点校としての機能を有するようになってきている。

### 金 沢 市 立 城 南 中 学 校 (校 長 米 田 茂)

当該校は，平成18年度より2年間の県指定「読解力向上推進事業」および平成20年度より同じく2年間の県指定「児童生徒の『活用力』向上モデル事業」に取り組んできた。その中で，理科においては，班全体で目的意識を持ちながら観察実験に取り組むよう，班活動に工夫をしてきた。また，レポート作成の指導にも力を注いでおり，金沢市小・中学校児童生徒科学研究作品展への出品数が増加し，県児童生徒科学作品コンクールでも優秀な成績を残している。

## 石川県立翠星高等学校 (校長 松原 清)

当该校は、開校以来、農業はもとより地域産業を支える有為な人材を輩出するとともに、農業及び環境分野の公開講座を開講するなど地域との連携を深めながら今日に至っている。なかでも平成5年創部のバイオサイエンス研究会は、バイオテクノロジーを活用したササユリや野生ランの増殖、キクやジネンジョのウイルスフリー苗作出などの研究を行い、全国的にも高い評価を得ている。近年は、ササユリやシュンランの自生地復元活動や里山の保全活動を地域住民や各種の団体と協力して行い、いしかわ環境ISOエコギフト初代大賞を受賞している。

## 4 学校助成

津幡町立中条小学校 (校長 長谷川 肇)

津幡町立津幡南中学校 (校長 小林 誠司)

石川県立津幡高等学校 (校長 梅田 和秀)

平成22年度に河北郡津幡町で開催される第47回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

## 5 教育機関助成

石川県教育センター (所長 宗末 勝信)

学習指導要領改訂の柱である理数教育の充実に向け、小学校理科実験指導の中核となる人材育成のため、継続的な研修の実施を予定し、科学教育の振興・発展に努めている。